

# 仙台空港特定運営事業等

2015.7

## 東急前田豊通グループ

東京急行電鉄株式会社

前田建設工業株式会社

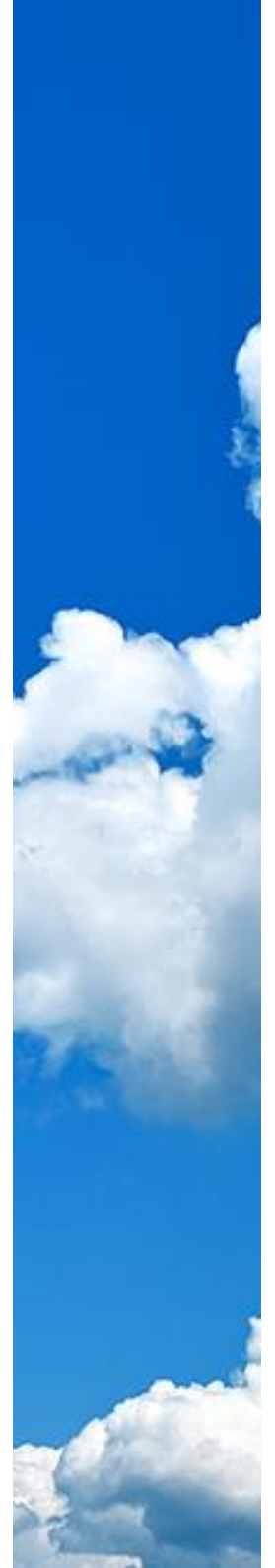
豊田通商株式会社

東急不動産株式会社

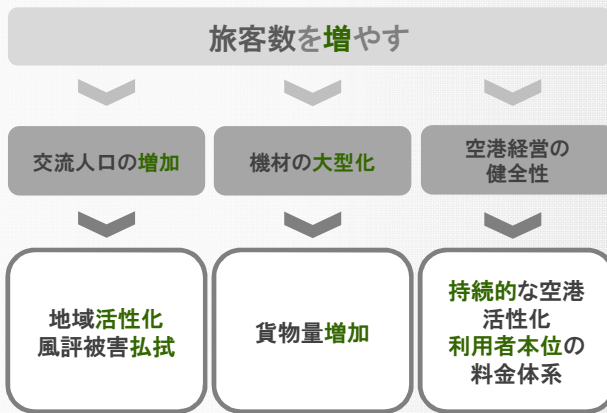
株式会社東急エージェンシー

東急建設株式会社

株式会社東急コミュニティー



## 仙台空港民営化の目的を達成するためには



## 仙台空港の将来イメージ

### プライマリー・グローバル・ゲートウェイ

東北を発着する旅客に一番に選ばれる  
 東北で最も重要な航空貨物の拠点となる

## 旅客数の目標値

	現在	5年後 (2020年度)	30年後 (2044年度)
旅客	324万人	410万人	550万人
国内	307万人	362万人	435万人
国際	17万人	48万人	115万人
貨物	0.6万t	1万t	2.5万t

# 1. 路線を増やし、航空需要を増やす

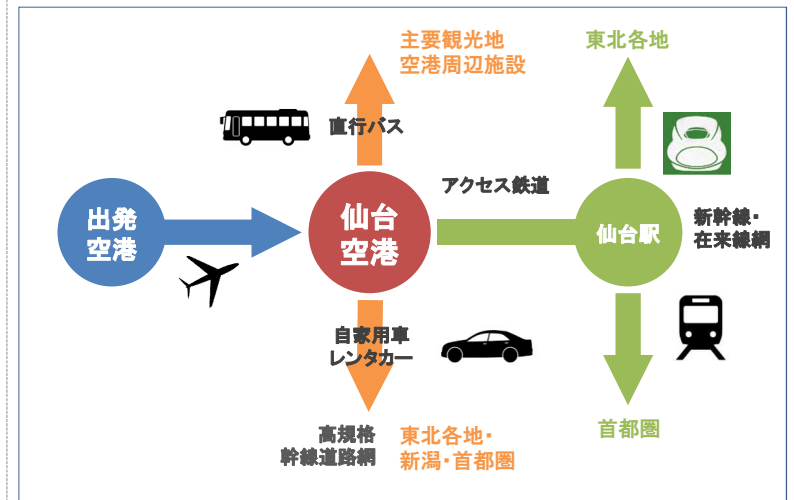
## 航空ネットワークの拡充

- 国際線**
  - 4時間圏の直行便拡充
  - 東アジアハブ路線の増便・大型化
- 国内線**
  - FSC(フルサービスキャリア)路線維持
  - 機材大型化
  - LCC(格安航空会社)新規路線拡充
- 貨物**
  - ハブ空港への機材大型化・デیلیー運航による輸送ルート確立
  - 港湾と連携したトラックによる共同配送網確立
  - 輸出支援策による貨物量の底上げ
- 官民連携**
  - 仙台空港国際化利用促進協議会の活動活性化
  - 地域と一体となった航空利用促進
  - エアライン支援策(航路路線PR)の実施



## マルチモーダルハブ

航空ネットワークと複数の交通ネットワークが集結し、円滑に接続される結節点となる



## 空港アクセスの利便性向上

- レンタカー駐車場 空港内設置により空港からのアクセス向上
- 駐車場の拡張 立体駐車場整備による混雑緩和
- 東北各地へのシャトルバス運行に向けた協議
- 仙台空港連絡協議会(仮称)を通じた鉄道ネットワークのアクセス利便性向上

## 料金施策と施設整備

- 基本的な考え方**
  - エアラインと空港の「協働」
  - 旅客数・貨物量の増加促進
  - エアラインの就航意欲を喚起
- 具体策イメージ**
  - 旅客数減少時にはエアラインの料金負担を軽減する料金体系
  - 新規就航時等の割引制度
  - エアライン・利用者負担に配慮した施設整備

## 東北ブランドの発信

東北ブランドとは

美しい四季のコントラスト 伝統文化 食の豊かさ

- ゴールデンルート**の形成促進
  - 二次交通網整備
  - 旅行商品開発
  - プロモーション
- 仙台空港からの東北ブランド発信
  - 四季を感じる空港へ
  - 特産品の催事販売
  - ロケツアーリズム促進
- 東急グループとの連携
  - アジア商業施設での東北PR拠点化

仙台空港国際化利用促進協議会  
 東北観光推進機構との緊密な連携による  
 東北ブランド認知度向上に向けた取組の推進



## 2. 空港活性化と設備投資

### 「安心」「快適」「ホスピタリティ」の提供

国内最高レベルの旅客満足度の実現

インフラとしての「安心」、楽しく過ごせる「快適」、うれしい驚きと感動を与える「ホスピタリティ」の、利用者の感じる3つの体験価値を高め、国内最高レベルの旅客満足度を実現。

旅客増加に先立つ十分なキャパシティの増強

インフラの基本性能ともいふべき旅客のキャパシティを計画的に拡充。



設備投資総額 341.8億円

### 将来の空港イメージ

#### ピア棟の新設(旅客搭乗施設)

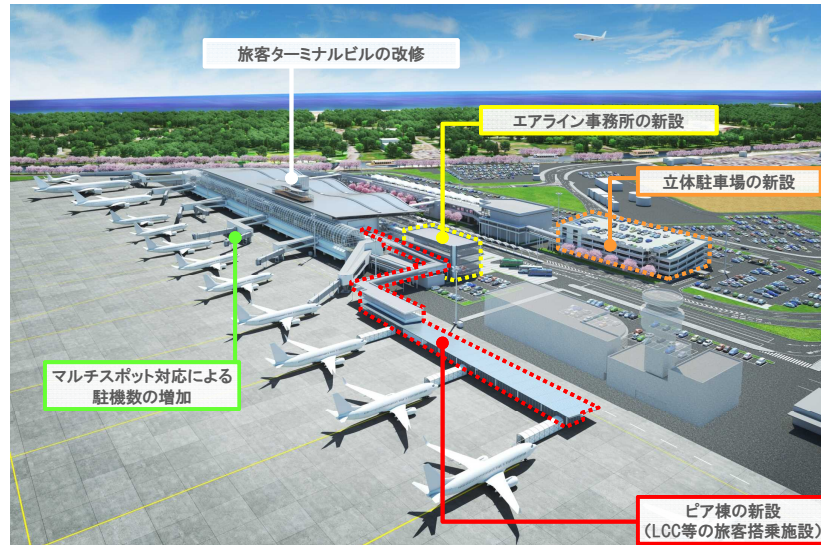
- ピア棟の新設により搭乗ゲートを増設
- マルチスポット対応による駐機数の増加
- 固定搭乗橋を設置しないことにより、エアラインが負担する搭乗橋使用料を削減し、LCC等の新規就航を喚起

#### 旅客ターミナルビルの改修

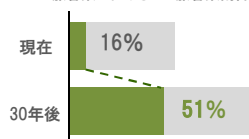
- 東北ブランドを発信する物販や飲食等の商業店舗の拡充
- 保安検査場通過後エリアの店舗の拡充
- 安心かつスムーズな搭乗をサポートする設備機能の増強(サイン・フライトインフォメーションボードの改修、保安検査場待ち時間表示システムの導入等)



- 総合案内所の機能の増強(外国語対応・観光案内・二次交通案内やチケット販売等)
- 地域住民の方々等のための交流プラザやお迎えの方や到着旅客のためのアライバルカフェ設置



旅客数におけるLCC旅客数割合



実現のために必要な対応

旅客数の増加に対する施設機能増強  
LCC等が新規に就航しやすい施設の利用率金設定

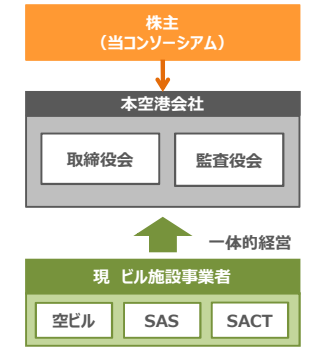


## 3. 高いサステナビリティの実現

### 事業実施体制

長期安定的なガバナンスの構築

- 地域の有識者の知見を活かすガバナンス
- 普通株式を長期保有
- ガバナンス・安全管理体制の一元化



### サステナビリティ 全ての事業活動の基盤

空港運営を確実に引継ぎ

民間企業としての健全性を確保

しながら持続的成長を実現

- 安全・保安をすべてに優先する組織風土
- 地域住民の方々との交流を促進し、地域とともに成長・発展
- 一人ひとりが変革の主役となり誇りとやりがいをもつ「動きたい空港」を実現

#### 地域と共生する事業

- 環境負荷の低減
- 空港周辺環境対策事業の継続実施(騒音対策等)
- 桜の植樹活動等に対する実施支援

#### 空港利用促進事業

- 地域間連携による航空需要拡大
- 仙台空港国際化利用促進協議会との連携した就航路線PR活動



### 安全・保安体制

● 代表企業の交通インフラ事業と連携した安全・保安体制

- ・ 多面的な視点にモニタリングの実施
- ・ スイスチーズモデル体制

● 社長直轄の「安全推進室」設置

- ・ 保安業務の担当部門から独立した社長直轄部門
- ・ 外部機関との協議・調整を一元的に実施

● 「仙台オペレーションセンター」創設

- ・ 空港基本施設、旅客・貨物ターミナルビルの包括的・一体的な管理を実施
- ・ 空港の安全運用のための航空保安、警備・防災、フアシリティマネジメント部門

